

今からおおよそ2400〜2500年ほど前の弥生時代、水田稲作の技術が中国や朝鮮半島から北部九州に伝来しました。また、同時期に伝わった青銅器や鉄器も、武器や権力の象徴として社会を一変させていきます。

稲作文化が根付くと、人々はそのに住居を構え、ムラ(集落)を形成するようになり、水路として、また、他のムラからの防衛として濠を巡らした環濠集落が誕生しました。特に農耕社会が定着した福岡県には、朝倉市の「平塚川添遺跡」のような環濠集落が少なくありません。

この環濠を巡らすには、技術や道具だけでなく、それを担う相当数のムラ人を束ねる首長の存在が必要で、やがて、彼らは近隣の集団を統合し、より巨大な権力を握る王となりました。県内にはいくつもの王墓が存在し、特に「魏志倭人伝」にも登場する「伊都国」には、女王国の防衛拠点「大率」が置かれるなど、大きく栄えた国が県内に誕生していたことが分かります。

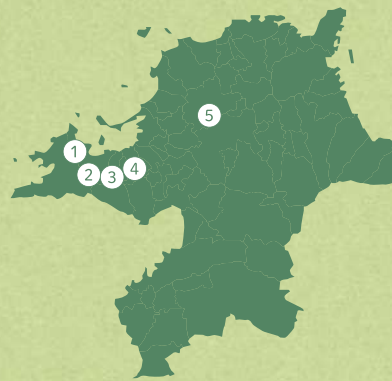
北部九州へ、稲作の伝来と青銅器・鉄器の登場



ひらつかかわぞえ
平塚川添遺跡 (朝倉市)
多重の濠を持つ環濠集落。現在は遺跡公園として、住居、祭殿、首長館、高床倉庫の一部が復元されている

県内の主な王墓分布図

弥生時代の中期から後期にかけて、副葬品の質・量ともに他と一線を画す大きな墓が県内に多数出現した



- 1 平原遺跡…国内最大の銅鏡が発見された
- 2 三雲南小路遺跡…豪華な副葬品や墳丘の大きさから伊都国王の墓とされる
- 3 吉武高木遺跡…弥生時代前期末〜中期後半の国内最古といわれる王墓が発見された
- 4 須玖岡本遺跡…国内最大級の甕棺墓が発見された
- 5 立岩堀田遺跡…前漢時代の鏡をはじめ、大量のガラス製品や南海産のゴボウラ貝の腕輪などが出土。また、この地で製作された石包丁が県内各地に流通しており、他の地域との交流が盛んであったことが分かる



ひらばる
平原遺跡 (糸島市)
王墓である1号墓のみが復元。日本国の成立に大きく関与したであろう「伊都国」の遺跡として歴史好きにはたまらないスポット

Topics

ふくおか古代遺産を「世界遺産」へ

- 1 「神宿る島」
- 宗像・沖ノ島と関連遺産群

沖ノ島を起源とする信仰を現在に伝える宗像大社と、信仰の伝統を築いた古代の人々の古墳群からなる遺産群です。沖ノ島へは、縄文・弥生時代から人々が往来し、「神宿る島」を崇拜する伝説が古代東アジアの活発な対外交流の中で発展して、今日まで継承されてきました。



玉類
出土したガラス小玉、管玉、土製勾玉。管玉は製作途中のものがあることから、集落に玉類を作る工人集団が居住しており、すでにこの時代、技術を持った専門集団がいたと考えられる。
※写真/朝倉市教育委員会 提供

ひらつかかわぞえ
平塚川添遺跡



第1回

福岡・古代の夜明け 稲づくりから、国づくりへ

東アジアに開かれた玄関口として発展してきた福岡県は、古代においても大陸の影響を受けた豊かな文化が花開きました。大陸との深い交流の中からもたらされ、独自の発展を遂げた古代の文化から見えてくるテクノロジー(技術)をご紹介します。



ネズミ返し
復元された高床倉庫の柱に取り付けられたネズミ返し。貯蔵する大切な穀物を、ネズミなどに食い荒らされないための技術である。先人達がネズミの能力を知り、どのような工夫で被害を防いでいたのかが分かる。

ひらつかかわぞえ
平塚川添遺跡



三又鍬と鋤
環濠から出土した木製の鍬と鋤。この時代、鉄などの金属器はまだ貴重品で農具には木が使われた。しかし、それらの形も用途も現代のものに近く、想像以上に農業技術が進んでいたと思われる。
※写真/朝倉市教育委員会 提供

ひらつかかわぞえ
平塚川添遺跡

国宝 内行花文鏡
絶大な権力の証とみられる直径46.5cm・重さ約8kgの国内最大の銅鏡。平原遺跡では5面の内行花文鏡を含む、40面もの銅鏡が見つかった。鏡は実用品というより、権力の象徴として、また祭祀に使われていたと考えられている。
※国(文化庁)保管
伊都国歴史博物館 展示中

ひらばる
平原遺跡

国宝 ガラス勾玉
頭部に4本の沈線のある大型の勾玉。この勾玉をはじめ、貴重なガラスやメノウで作られた色鮮やかな装身具や、身分の高い女性のみが身に付けられるピアス「耳環」が出土したことから、被葬者は有力者の女性(女王)と考えられる。
※国(文化庁)保管
伊都国歴史博物館 展示中

ひらばる
平原遺跡

国宝 素環頭大刀
長さ80.2cmの鉄製の大刀。ほとんど反りを持たない、直線状の大刀で、王の力の象徴として棺のふたの上に置かれた物と見られている。鉄も当時は貴重で、権力の証として用いられた。鉄が普及するのは弥生時代の後期になってからで、武器や工具として登場する。
※国(文化庁)保管
伊都国歴史博物館 展示中

ひらばる
平原遺跡

